

# Fetish Tycoon

## オモチャと映画と女の子が 思いっきり好きなマニアの王道コラム

### 男たちのコイン集めが熱い！ チャレンジコインに注目だ。



▲全米ライフル協会 (ナイフツール内蔵)



▲大統領専用機 エアフォースワン 機体記念

▲マイノット空軍基地 燃料補給隊



▲国連イラク派遣軍

由來は第一次世界大戦に遡る。遅れて欧州の近代戦に参戦した米軍だが、或るパイロットがドイツ機に撃墜され奇跡の生還をした時にお守りにオタク的の言い換えれば、少年探偵団の団員バッジであり、トレーディングカードだ。

配属された新兵に上官が授け、他の部隊との合同演習や実戦でチームメイトが交換し、また何かの記念メモリアルで作ったりもする。退役軍人たちが集めたり交換したりしたことからコレクターも現れた。

そのメダルのことは少し前から気づいてた。何かの映画だがドラマだかで仲間のもつていたメダルの描写を見た記憶があった。その時は何かのお守りなんだろうな...と思っただけ。字幕だか翻訳だか読んで、そう描いていたと思う。これが戦う男の友情の証。チャレンジコインだと知ったのは、つい最近のことだ。そのメダルは階級章や勲章のように軍や政府から授けられるものではない。将兵が個人的にお金を出し合せて作り、仲間の証として持ったり交換したりするトレードアイテムだ。

「デザインを見てみると欲しくなってくる。」

リジナルのメダルを持っていたことから始まるんだ。そのパイロットは出撃前に部隊全員の無事を祈り、限定枚数のメダルを作った仲間配った。必ずメダルの数が欠けることなく帰還することを目指して、自分は撃墜されちゃったんだけどメダルの誓いを守るために必死で敵地を突破して帰還したというレジェンドだ。

このチャレンジコイン、幸いにして日本ではまだまだ知られていない。取り扱っている店舗も少ない。幸いにして...というの、みんなが集め出すと絶対我が輩も欲しくなっちゃうからさ。一枚は10\$、20\$位なんだけど、集め出すとほまりそうな気分。

今、我が輩のオタク魂の中心で密かに燃えているのは、このチャレンジコイン集めの欲望の炎だ。

かなり魂が揺さぶられている。かつてアメリカ好きが高じて日本最大のアメコミ専門店を開業しちゃった我が輩である。そのお店「サイバード」は後に事情あって売却され、今は渋谷で「ブリストラー」と店名も変わって、なおも経営中...と店名も変わって、名物マネージャーのフランク・デューボア氏も許めかつてのオタク魂は消え失せて抜け殻のような店になっちゃったけど。(余談)

「デザインを見てみると欲しくなってくる。」

世界最大の戦闘国家アメリカ合衆国ゆえ、退役および予備役軍人の数も半端じゃない。現役よりもリタイア、リザーブの人たちに人気があるという。作戦で世界中の戦場や基地を巡った彼らの思い出として、土地由来のコインも懐かしい思い出のプレイバックアイテムである。



▲米軍部隊コイン バリエーションコレクション

コインは米軍師団連の専門彫刻製造メーカーによって作られている。昔はPX(基地売店)経由で依頼していたが、今はインターネット経由で世界中の誰かが自由で作れるようになった。結婚式や卒業記念、会社の業績コンテストの参加記念、ビッグプロジェクトの達成記念とか、一般にも普及を始めている。これは面白いかも。

「ひとつのアイデアもコインを作ってみるか」

「第〇回夏コミ参加記念」ガングラム無双参戦記念「ギルド戦戦勝祝賀記念」とか。いや、「秋葉原メイド喫茶刺青記念」「チームニート出撃拒否記念」みたいな、思いっきり間抜けなのが面白い。デザイン代、型代、製造彫刻代で100個作って10万円位。製造費二個千円、お仲間みんなを出せない金額じゃない。オタクタイクーンの連戦〇〇回記念とか、レプリカント誌〇〇号記念とかいいかもよ。



▼コレクションラック



▲米軍師団連アイテムの専門会社(株)イーカンパニーが、日本国内唯一のオフィシャル

<http://www.ecompany.co.jp/challengecoin.html>